

食に関する指導の目標【例】

食事の重要性

- 食べ物に興味・関心をもつ。
- 食べ物には「いのち」があることが分かる。
- 生活の中で食事が果たす役割や自ら調理できることの重要性を理解する。

心身の健康

- 健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせず食べようとする。

食品を選択する能力

- 日常食べている食品や料理の名前や形を知る。

感謝の心

- 心を込めて、「いただきます」、「ごちそうさま」のあいさつが言える。
- 生産者や自然の恵みに感謝して食べることができる。

社会性

- 自然界の中で動植物と共に生きている自分の存在について考え、環境や資源に配慮した食生活を実践しようとする。

食文化

- 地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連付けて考えることができる。
- 食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深める。



農業体験内容【例】

水稲

田植え、草取り、稲刈り、脱穀、粃すり、精米



畑作

播種、移植、草取り、収穫



野菜

播種、移植、草取り、摘果、整枝、収穫、出荷作業



酪農畜産

ほ乳、搾乳、給餌、ブラッシング、牛舎清掃、施設見学、牧草収穫、乳製品加工（バター、アイスクリーム作り）



果樹

摘花、草取り、摘果、収穫、出荷作業



その他

農畜産物加工（そば打ち、パン作り、豆腐作り、ソーセージ作り）、自然観察、農業機械の実演



先生も予習体験！

子どもたちを引率する前に、教員自らが農業体験をしてみることも大切です。実際に汗を流せば何を学ぶのかも明確に。教員の事前体験に適した施設を紹介します。



ピザ作り

ホクレン 食と農のふれあいファーム

くるるの杜

〒061-1270 北広島市大曲377-1

<http://www.shokuiku-hokuren.jp/>

連絡先 電話：011-377-8700 FAX:011-377-8174

ホクレン北広島事業所管理課

収穫時期や食材の旬に合わせて農作業と調理加工の2本立て

体験内容

「農作業体験」（例：田植え、稲刈り、しめ縄作り）と「調理加工体験」（例：肉まんやピザ作り）の2つがあります。作物の収穫時期などに合わせた調理メニューなどの毎月体験プログラムをホームページなどで公開しています。学校教員専用のプログラムや窓口はなく一般参加としてご参加いただけます。

申込方法

- お申込みは原則、体験日の2日前までにホームページからダウンロードした申込書をFAXまたは電話で直接お申込みください。
- 団体でのお申込みについては事前に打合せが必要となりますのでご相談ください。



Step 2

受入先を探す

体験の受入先を探すとき、最も重要なのは、学ぶ目的に合った体験内容を無理なく実施できること、またその目的を、農業者が正しく理解してくれることです。

以前から交流している受入先がある場合は、そこを活用するのがスムーズですが、新しく受入先を探すには、主に下記のような方法があります。いずれの場合も、体験内容、時期、作目の分類（水稲、畑作、野菜、酪農・畜産、果樹、その他）、体験人数、所要時間、料金、移動手段、保険の加入などを考慮しながら幅広く情報収集をします。

受入先を探す方法

- 家庭や地域の人から探す。
- 北海道各地の「食育ファーム」（本書54ページ参照）から探す。
「元気もりもりどさんこの食育」食育ファームホームページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/data/experience/farm.htm>
- 地域の農業団体、市町村教育委員会などに相談する。

Step 3

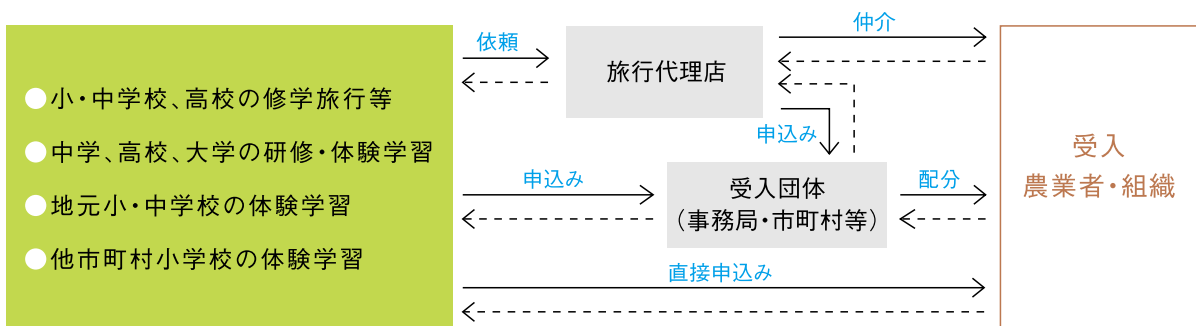
申込み

体験を申し込むには、主に下記のルートがあります。

申込みにあたっては、受入先との行き違い、誤解、確認もれ等がないよう、口頭で伝えるだけでなく、郵送やFAX、Eメール等で「申込用紙」（次ページ参照）を提出すると安心です。また、次回の体験計画を立てるときにも参考になります。

申込ルート

■凡例 ———→ 申込み(依頼、仲介、配分) <----- 内容確認、受入れ判断



農業体験 実施の課題

農業者が体験者を受け入れるとき、よく課題となるのはこんなことです。
計画を立てる際に十分配慮し、受入先となる農業者と相談しましょう。

- 大人数が一度来ると、対応できない場合がある。
- 農作業が忙しい時期と、体験希望の時期が重なることが多い。
- 作物の生育や家畜の状況等により、計画変更が必要になることがある。
(例: 体験当日は晴れていても、前日まで雨が続いて畑がぬかるみ、草取りや収穫などできない場合がある)
- 体験内容によっては、できれば進んで実施したくない作業もある。
(例: 搾乳は毎日決まった時間に行うので、違う時間にはあまり実施したくない)

参考

申込用紙

この書式は、「元気もりもりどさんこの食育」のホームページからダウンロードして利用できます。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/data/project/step3.htm>

項目	内容
① 申込者	学校名・学年・組 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小学校 5年1組 学校住所・連絡先 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 市5条1丁目 電話 000-111-2222 (8:30～19:00) FAX 000-111-3333 代表者名・緊急連絡先 担任 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 携帯電話 000-1111-4444 Eメール aaa@bbb.jp 副担任 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 携帯電話 000-1111-5555 Eメール ccc@ddd.jp
② 人数	合計 40名 大人 4名(教員3名、介助者1名) 子ども 男子18名、女子18名 ※アレルギー症状のある子ども 女子1名、大豆アレルギー ※身体等が不自由な子ども 男子1名、車いす利用、母親が同行
③ 目的(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ● 食べ物の大切さを知り、自然の恵みに感謝する。 ● 食と「いのち」の関係と大切さを考える。
④ 希望内容	酪農(搾乳、牛舎清掃、給餌等)
⑤ 希望月日・時間	2012年 0月 00日(月) 10:00～14:00(体験3時間、昼食1時間)
⑥ 移動手段	貸切りバス1台 ※駐車場の確保をお願いします。
⑦ その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 昼食について:持参した弁当を食べるので、休憩場所の準備をお願いします。 ● 事前打合せ :1回目は、0月00日(月)17時ころはいかがですか。 ご都合がよろしければ、<input type="checkbox"/><input type="checkbox"/><input type="checkbox"/>牧場を訪問します。